

LESSON 06

第6回 マルチメディア表現と技術

授業スライド骨格を作る

情報Iで「届く形」を考える授業へ

稲垣 俊介 山梨大学 教育学部 准教授

今日の問い

情報を届く形にする授業は、どう作れるか

考えること

- ① 何を学ばせるか
- ② 何をみせるか
- ③ 何を作らせるか
- ④ どう見て直すか

GOAL

今日のゴール

第1版を提出し、相互レビューを受ける

今日残すもの

- ① 授業スライド骨格 第1版
- ② グループからのコメント
- ③ 第2版で直したいこと
- ④ 短い振り返り

時間があれば第2版に直し、難しければ宿題で直す

今日の流れ

第1版を作る → 提出する → 見る → 直す方針を決める

①

振り返る

②

考える

③

作る

④

提出する

⑤

見る

コメントを記録し、第2版の方針を決める

これまで考えてきたこと

第1回から第5回までの流れ

扱ってきたこと

- ① 情報をどう残すか
- ② 情報をどう見せるか
- ③ 情報をどう生成するか
- ④ 情報をどう届く形にするか
- ⑤ 媒体をどう選ぶか

共通していた流れ

STEP 1

迷う

具体的な場面で考える

STEP 2

作る・見る

形にして他者に見せる

STEP 3

直す・意味づける

改善して概念に戻す

今日作る授業にも、この流れを入れる

PURPOSE

作ることによって何を学ぶのか

見た目を整えるためだけではない

学ばせたいこと

- ① 受け手を考える
- ② 情報を選ぶ
- ③ 媒体を選ぶ
- ④ 改善する

作る活動は、情報をどう届けるかを考えるためにある

OUTPUT

今日作るもの

授業スライド骨格。完成版ではない

条件

- ① 5～6枚でよい
- ② 1枚1役割
- ③ あとで直せる
- ④ 他の人に伝わる

今日の授業内では、第1版を提出する

骨格スライドの形

まずは6枚で作る

6枚の役割

- ① 授業タイトル
- ② 見せる場面
- ③ 中心的問い
- ④ 制作活動
- ⑤ 相互レビュー
- ⑥ 最後のまとめ

学ばせたいことを決める

高校生にどんな見方を残すか

例

- ① 受け手によって伝わり方が変わる
- ② 情報を増やせば伝わるとは限らない
- ③ 媒体によって考えやすさが変わる
- ④ 他者に見てもらおうと改善できる

最初に決めるのは、題材ではなく学ばせたい見方

CHECKPOINT 02

題材を決める

高校情報Iで扱う題材にする

題材の例

- ① 学校行事ポスター
- ② 文化祭PR画像
- ③ 授業スライド
- ④ 動画サムネイル

高校生が授業内で作って直せる大きさにする

題材を小さくする

大きすぎる題材を、授業内で扱える大きさへ

大きすぎる

- ① 動画を作る
- ② ポスターを作る
- ③ 教材を作る

授業にしやすい

- ① 15秒動画の冒頭を考える
- ② 1枚ポスターを直す
- ③ 紙版とデジタル版を比べる

中心の問いを作る

制作につながる問いにする

強い問いの例

- ① 誰に何を届けるのか
- ② 何を残し、何を削るのか
- ③ どう直すと伝わるのか
- ④ どの媒体なら考えやすいのか

問いは、作る活動とつながっているかを見る

フォーム入力 1

Q1 高校生にどんな見方を学ばせたいですか。

Q2 そのために、どんな題材を扱いますか。

書いたら、題材が授業内で扱える大きさか確認する

フォーム入力 2

Q3 高校生に投げかける中心的問いは何ですか。

Q4 両方大事だが、同時に満たしにくいことは何ですか。

中心的問いが、制作活動につながるか確認する

見せる場面を決める

問いが立ち上がる素材を用意する

素材の例

- ① 読みにくい案内
- ② 情報が多すぎるチラシ
- ③ 伝わりにくいスライド
- ④ 字幕の違い

場面があると、問いが立つ

CHECKPOINT 05

高校生が作るもの

見られる、比べられる、直せるものにする

作るものの例

- ① 1枚スライド
- ② 案内チラシ
- ③ サムネイル案
- ④ 字幕案

見られないものはレビューできない

相互レビューの観点

感想ではなく、観点で見る

観点の例

- ① 見つかる
- ② わかる
- ③ 誤解しない
- ④ 媒体に合っている

採点ではなく、改善するために見る

フォーム入力 3

Q5 高校生に見せる場面や素材は何ですか。

Q6 高校生は授業中に何を作りますか。

作るものは、見られる・比べられる・直せるものにする

フォーム入力 4

Q7 相互レビューでは、制作物のどこを見ますか。

確認 観点は3つに絞る。感想ではなく、改善につながる観点にする。

ここまで書いたら、授業スライド骨格の作成に入る

スライド骨格 第1版を作る

まずは6枚。見た目より、流れを優先する

- ① 授業タイトル
- ② 見せる場面
- ③ 中心となる問い
- ④ 制作活動
- ⑤ 相互レビュー
- ⑥ 最後のまとめ

作り終わったら、第1版として提出する

第1版を提出する

提出ファイル名と形式をそろえる

- ① ファイル名: 学籍番号_氏名_第1版.pptx
 - ② 形式: PPTX
 - ③ 提出先: 指定フォルダ
-

提出した第1版を、グループで見せ合う

グループで相互レビュー

STEP 1

発表

1人2～3分で説明する

STEP 2

コメント

グループ全員で返す

STEP 3

記録

もらった意見を残す

2～3人組で、1人5分程度を目安にする

見る観点

第1版を見て、改善につながるコメントを返す

見ること

- ① 学ばせたいことが分かるか
- ② 題材は具体的か
- ③ 問いは制作につながるか
- ④ 作るものは明確か

よい点を1つ、直すとよい点を1つ伝える

フォーム入力 5

Q8 第1版のファイル名を書いてください。

Q9 他の人からもらったコメントを書いてください。

次に、Q10で気づいたことと直したいことを書く

フォーム入力 6

Q10 気づいたことと、直したいことを書いてください。

確認 ここまでが、今日の授業内フォームです。

書いたら、第2版の方針を決める

REVISION

第2版の方針を決める

コメントを受けて、何を直すか考える

考えること

- ① 何を残すか
- ② 何を直すか
- ③ 何を小さくするか
- ④ どのコメントを反映するか

時間があれば直す。難しければ、第2版は宿題にする

宿題フォーム

第2版を提出する

- ① 授業スライド骨格 第2版
 - ② 第1版から直したこと
 - ③ 直した理由
-

第2版は、次回の制作の出発点にする

出張期間中の進め方

新しい課題は増やしすぎない

やること

- ① 第2版を作る
- ② 提出フォームに記録する
- ③ 必要な素材を1つ探す

完成版まで作り切らなくてよい

次に会う回でやること

第2版をもとに、完成版に近づける

- ① 授業スライド
- ② 高校生に見せる素材
- ③ 高校生用ワーク

変えた理由を残す

今日のまとめ

情報Iの授業を作るとは

設計する流れ

- ① 作る
- ② 見る
- ③ 直す
- ④ 意味づける
- ⑤ 第1版を残す
- ⑥ コメントを残す
- ⑦ 第2版へつなげる